

**令和元年度
新地域包括ケアに資する地域リハビリテーション専門職認定研修会
開催要項**

1. 趣旨

地域包括ケアシステムの構築に向け、地域リハビリテーション活動を推進することが可能な理学療法士・作業療法士・言語聴覚士を養成するための教育研修を実施する。

2. 開催団体

公益法人長崎県理学療法士協会・一般社団法人長崎県作業療法士会・一般社団法人長崎県言語聴覚士会・特定非営利活動法人ナガサキリハビリテーションネットワーク（長崎県リハビリテーション支援センター）

3. 実施内容

地域包括ケアシステム構築に向け、介護予防事業及び地域ケア会議等の市町や地域包括支援センターが行う事業・会議において、住民の方々への生活支援に活かせる助言等を行える理学療法士・作業療法士・言語聴覚士を養成する。

- 平成27年から29年間の3年間に長崎県から委託を受け開催された「地域包括ケアに資する地域リハビリテーション専門職認定研修事業」（4日間コース）のカリキュラムを、2日間コースに再編成し開催する。またこの研修会は、過去3年間のコース修了者のブラッシュアップ研修も兼ねるものとする。

○カリキュラム概要

- 1) 地域リハと地域包括ケア
- 2) 通所リハ・訪問リハにおける自立支援
- 3) 事例検討（自立支援・重度化予防）
- 4) 介護予防演習 など

○研修修了者には修了書を発行する。（2日間の全プログラムを受講した方）

○修了者氏名リストについて

市町事業推進のために修了者氏名リストを当該圏域の地域リハビリテーション広域支援センター等に提供します。（目的以外の使用はいたしません。）

○ 訪問リハ振興財団への登録について

本研修会終了後、（平成30年より三士会合同開催の「訪問リハビリ実務者研修会」も兼ねている）訪問リハ振興財団へ「訪問リハビリ実務者研修会」受講者として登録するための手続きを行います。

4. 開催期日

令和元年11月9日（土）10日（日）

5. 開催場所

東彼杵町総合会館教育センター 研修室1,2,3,4
（長崎県東彼杵郡東彼杵町彼杵宿 706-4

TEL0957-46-0353 FAX0957-46-0757)

6. 参加費

無料

7. 定員

100人程（定員は会場の都合で100人程とします。また参加受付は先着順としますのでお早めにお申し込み下さい。）

8. 申込み

1) 締め切り日：10月25日（金）

2) 申込み方法：メール、FAXにて ①氏名 ②職種 ③所属施設名 ④参加日
（1日目のみ 2日目のみ 両日） ⑤研修会受講経験の有無
（H27年受講 H28年受講 H29年受講 初めて）を明記の上
お申し込み下さい。

※作業療法士会会員は県士会ホームページの申込みフォームから申込み下さい。

3) 申込み先：各専門職団体事務局

9. 参加資格

1) 各団体（長崎県理学療法士協会・長崎県作業療法機会・長崎県言語聴覚士会）が
定めた基準を満たしている方。

2) 平成27年から29年に開催された「地域包括ケアに資する地域リハビリ
テーション専門職認定研修」を修了した方。

令和元年度新地域包括ケアに資するリハ専門職認定研修会プログラム

11/9,10
東彼杵町総合会館教育センター

	時間	講義No	講義テーマ	講義時間	担当(案)	
11月9日	10:00~10:50	1	「地域リハと地域包括ケア」 ~もっとその人らしさと自律(自立)にこだわろう~	50分	ナガサキリハビリテーションネットワーク	松坂誠應氏
	休憩					
	11:00~11:50	2	「地域包括支援センターと介護予防・総合事業」 ~自立支援と重度化防止の継続性への工夫~	50分	行政・包括・保健所担当者	長寿社会課 重野智子氏
	昼食					
	13:00~14:00	3	「災害リハビリテーションと地域づくり」 ~平時からできること、いざ時準備~	60分	長崎災害リハ推進協議会	中島龍聖氏(長崎リハ病院PT) 生田敏明氏(長崎リハ病院OT)
	14:10~17:10	4	「事例検討」 ~加齢、自立支援、重度化予防」の観点~	180分	長崎県介護支援専門員連絡協議会	介護支援専門員6人(
11月10日	9:30~11:30	5	「通所リハと訪問リハにおける”自立支援”の実際」	120分	長崎県理学療法士協会 長崎県作業療法士会 長崎県言語聴覚士会	通所リハ:佐藤公紀氏(長崎リハ病院OT) 訪問リハ:尾崎武正氏(長崎北病院PT)
	昼食					
	12:30~15:30	6	「介護予防演習」~企画・準備・運営・評価について~	180分	PT協会・OT士会・ナガサキリハビリテーションネットワーク	井口茂氏(長崎大学医学部保健学科)、飯野朋彦氏(にしきの里PT)、山口晃樹氏(健康保険諫早総合病院PT)、中村剛氏(小榎アスカ福祉会OT)
	15:40~15:50		修了書授与式			

令和元年度新地域包括ケアに資する地域リハ専門職認定研修会について

目的 昨年までの認定者のブラッシュアップ
 認定者以外の対象者への動機づけ(PT,OT,ST)
 地域包括ケアにおける地域リハ活動の外部広報・啓発
 地域リハ実践者間のネットワークの発展・拡大
 ⇒ この場は参加者の拡大(CMなど)が必要

方法 ・2日間の集合研修とする。
 ・内容は昨年度の離島版を基本に、2日プログラムにて構成する。

区分1	区分2(テーマ)	時間min	担当	内容	備考
Ⅰ. 基礎編(講義)	①地域リハと地域包括ケア ～もつとその人らしさと自律(自立)にこだわろう～	50	ナガサキリハビリテーションネットワーク 松坂代表	・長崎におけるこれまでの地域リハビリテーションへの取組み ・地域包括ケアシステム構築に向けて大切な地域リハの視点 ・介護保険制度や地域保健を取り巻く現状について ・自立支援に向けたサービスのあり方	
	②地域包括支援センターと介護予防・総合事業 ～自立支援と重度化防止の継続性への工夫～	50	県長寿社会課	・長崎県の実情 ・長崎県の取り組み ・地域リハ推進の必要性	
Ⅱ. 実務編(講義)	③通所リハと訪問リハにおける「自立支援」の実際	120	PT協会・OT士会・ST士会	・ケアマネジメントと介護保険 ・通所リハと訪問リハ	
Ⅱ. 実践編(演習・実習)	④事例検討「加齢、自立支援、重度化予防」の観点から	180	介護支援専門員	・ケアマネジメントの考え方(基礎) ・個別支援計画の立案 ・Agingの理解とそれに沿った公的補助 ・自立支援のためのより良い支援計画(事例検討)	
	⑤介護予防演習「企画・準備・運営・評価について」	180	PT協会・OT士会・ナガサキリハビリテーション ネットワーク	・介護予防事業に関わるトピックス ・介護予防事業の進め方(考え方と実際) ・介護予防事業の疑似体験(評価法やプログラム)	
Ⅲ. 応用編	⑥災害リハビリテーションと地域づくり「平時からできること、いざ時準備」	60	長崎災害リハ推進協議会	・JRATテキスト改訂の紹介 ・Nagasaki-JRATの組織と全国JRATの組織 ・リハ専門職から見た有事への備え	

※ ・2日間で9時間の研修(訪問リハ研修に準拠) 640
 ・受講者はPT、OT、STを中心に、包括ケアセンターやCMにも広報する
 ・講義は学生にも公開・広報する(長崎大学のプログラム関係学生)